

「ライソゾーム病、ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを含む）における
良質かつ適切な医療の実現に向けた体制の構築とその実装に関する研究」（奥山班）

令和 2 年度 第 3 回班会議プログラム

【日時】 令和 2 年 12 月 10 日（木） 13 時 00 分～17 時 00 分

【方法】 Zoom を用いた Web 会議

【総合司会】 福原 康之（国立成育医療研究センター）

議事次第

13 : 00 | 班長挨拶 奥山 虎之

13 : 15 | 厚生労働省 ご挨拶
国立保健医療科学院 ご挨拶

▶▶ 各研究課題 報告

13 : 25 | 診療ガイドラインの作成と更新 福田 冬季子

13 : 40 | 1. NPC 診療ガイドラインの作成 高橋 勉

13 : 55 | 2. MPSIVA 診療ガイドライン作成 濱崎 考史

14 : 10 | 討議

14 : 20 | 拠点病院再編成 高橋 勉

14 : 35 | トランジションにむけた支援 右田 王介

14 : 50 | 討議

15 : 00 | LSD 診断支援システムの構築 大友 孝信

15 : 15 | 討議

～ 休憩（10 分）～

▶▶ トピック

15 : 35 | ニーマンピック病 C1 型に対する遺伝子治療開発研究 黒川 愛恵
(自治医科大学)

15 : 55 | 副腎白質ジストロフィーに対する造血幹細胞移植 松川 敬志
(東京大学)

16 : 15 | ムコ多糖症 II 型における中枢神経症状に対する酵素補充療法の開
発 奥山 虎之

16 : 35 | 総括 奥山 虎之